

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜南高等学校

学校番号 (6)

評価実施日	令和3年2月(書面開催)
委員(11名)	所属等
	学校関係者評価委員(総合学科育成会会長) 学校関係者評価委員(PTA会長) 学校関係者評価委員(総合学科育成会副会長) 学校関係者評価委員(PTA副会長) 学校評議員
評価・提言等	提言等に対する改善方策等
①組織運営等 ○コロナ禍で学校行事等が少なかったにもかかわらず、工夫ある運営をしていただいたと思う。 ○最終評価は、4項目とも低いように思うが、魅力ある学校づくりの箇所では、入学して良かったと思える生徒の増加を図っている。これが一番、総合学科としての基本理念に添い、教職員の努力や信念がうかがえる。 ○先生方がそれぞれの持ち場で積極的に活動されており、全教職員が一丸となって学校運営に携わっておられる様子がうかがわれる。 ○教職員間のコミュニケーションづくりを継続・強化してほしい。 ○校長先生のリーダーシップの下、適切な運営がされていると感じる。コロナの影響で十分な取組ができなかった部分もあると思うが、来年度も引き続き魅力ある学校づくりを進めてほしい。	○今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、学校運営においてさまざまな影響を受けた。「できない」ではなく、「できること」を探し、「どうすればできるか」を考えながら、今年度以上に工夫して来年度は取り組みたい。 ○生徒は年度当初の臨時休業で、新しい環境下での人間関係構築に苦勞をしたようであるが、教職員もコミュニケーションという点では、不十分どころも多かった。各場面におけるコミュニケーションを活発にすることで、風通しのよい組織づくりを行いたい。
②教育課程・学習指導 ○生徒・保護者ともに授業への評価が高く、生徒が大変意欲的に取り組んでいることが分かる。さらに、来年度はタブレットを活用することで、誰もが学習しやすい教育環境の構築に期待したい。 ○総合学科の特性に応じた教育課程が編成されており、生徒の多様なニーズに応じる工夫がなされている。また、授業に関するアンケート結果(生徒用)は、充実したすばらしい授業が行われているということを示している。 ○十分、指導いただけたと思う。 ○家庭学習時間の平均180分は、すばらしいと思う。 ○補習授業も熱心に行われている。	○新学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成を行うとともに、授業内容を工夫し、総合学科ならではの教育について研究を深め、実践していく。 ○GIGAスクール構想に係る「生徒一人一台端末」の配備により、高等学校における教育環境は大きく変わる。生徒一人一人に最適化された教育の実践に向けて、全教職員でICT関連のスキルアップを継続していく。 ○新型コロナウイルス感染症が再流行した際に備え、状況の想定とその対応について、研究することで、不測の事態に備えたい。 ○学習時間の質的量的増加を図り、学習習慣の定着を促していきたい。
③生徒指導 ○先生と生徒が親密であっても、適宜、指導はされている。 ○よく挨拶ができ、良い生徒が多い。 ○良き生徒がたくさんいて、とても落ち着いた学校だと思えます。自分の目的や目標とするものを見つけ、日々、努力していることでよくわかります。 ○制限の見直しを検討してみてもどうか。 ○不登校生徒がいないことに驚いている。個に応じたきめ細やかな指導が行き届いている証拠であり、すばらしい。	○生徒指導について、生徒一人一人を大切にするとともに、引き続き適切な指導を継続する。 ○今年度、大きな交通事故は発生しなかったが、軽微なものはいくつか発生している。交通安全に対する意識をさらに向上させ、交通法令の遵守、交通マナーの向上について生徒自身に考えさせる指導を実践する。 ○交通事故、特に、自転車乗車時の交通事故ゼロを目指して指導を強化する。
④進路指導 ○就職内定率が100%であり、進学合格率も高い値になっている。高校3年間の進路指導の成果が出ている。卒業後も、リタイヤすることなく、頑張ってくれることを期待したい。 ○就職率100%、進学97%で、進路指導の成果が上がっている。 ○生徒一人一人に合った進路指導は大変だと思うが、南高を卒業して良かったと思えるよう、また、次の人生に生かせるよう指導してほしい。 ○個々に寄り添った進路指導をしていただけた。ありがたく思う。 ○住友など、地元での関わりを大切にした進路指導がなされている。 ○親身になって相談に乗ってくれていると感じる。	○今後も、高校3年間を見通した進路指導を推進していくことで、生徒の進路実現を図っていく。 ○総合学科らしい学習指導を実践し、8系列の特色を生かした進路指導を推進する。 ○進学指導において、補習授業等、教員の個の力に頼る部分が多かったように思う。組織としての指導の在り方を検討し、教員の負担感の軽減を図るとともに、効率的な進路指導の在り方を研究したい。 ○入試制度改革や社会情勢の変化に関する情報を広く収集するとともに、生徒に還元する。

<p>⑤特別活動・ボランティア活動</p> <p>○コロナ禍であったが、南高生の活動は地域の方々にも受け入れられ認知度も高い。</p> <p>○地域に貢献できる活動が行われており、素晴らしいと思う。継続を願う。</p> <p>○今年度は特別な年だったと思うが、人と人が直接会わないボランティアも考えてほしい。</p> <p>○VYS部とユネスコ部は、地域との関わりの中で多彩なボランティア活動を熱心に行っており、市民からも高い評価を受けている。また、体育局の部活動も素晴らしい成果を収めていると思う。</p> <p>○コロナ禍での活動は十分でなかったと思う。</p> <p>○コロナ禍において、制限が多い中での取組となり、大変な苦労があったと思う。できることを考え工夫しながらの活動が生徒の満足感や充実感につながったと思う。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティア活動等については、大きく制限された一年であった。しかし、本校のボランティア活動への地域からの期待が大きいことに気付かされた年でもあった。感染症の拡大状況によっては、引き続き活動を制限せざるを得ないが、「何ができるか」「どうすればできるか」を考え、効果的な活動の在り方を工夫していきたい。</p> <p>○運動部・文化部とも、生徒の活動の場をどう確保するかを考えながら、効率的な活動を工夫したい。</p>
<p>⑥保健管理</p> <p>○来年度もコロナ感染症の影響で先行きが見えない状況が続くと思われる。引き続き学校においても感染症拡大防止策の徹底をお願いしたい。</p> <p>○保健は、ゴミ問題と併せて世界的課題である。環境改革と実践力を身に付けさせてほしい。</p> <p>○心身共の健康管理や保健指導を今後とも望みたい。</p> <p>○しっかりと対応していただき、個々の意識も高い。県外へ行くことも多い中、感染者が出ていないのはよい。</p> <p>○適切に指導が行われている。</p>	<p>○生徒が学校で、安心・安全に活動できるように感染症対策には引き続き学校をあげて全力で取り組んでいきたい。</p> <p>○学校の施設・設備を常に点検・整備し、生徒にとって安心・安全な教育環境を維持するよう取り組んでいきたい。</p> <p>○自然災害に対する防災教育・備えなどの安全教育を推進するとともに、危機管理マニュアルに基づき、有事の際、適切な行動がとれるように、必要な研修等を実践していきたい。</p>
<p>⑦人権・同和教育、特別支援教育</p> <p>○一人一人が自分自身のこととして捉え、これからも意識を高くもち学んでほしい。</p> <p>○人権教育は永久的に行うものであり、今後も同様の活動を期待する。</p> <p>○人としての人権、まず自分が変わらず学習し、知識を得、実践していくことが大切。</p> <p>○コロナ禍の中、生徒の体と心を育てることは前例のない苦労があったと思う。新年度も教職員の健康に留意して生徒の指導をお願いしたい。</p> <p>○隠れたいじめを見抜く力を強化してほしい。</p> <p>○本年度は校内研修など、年間計画通りの実施は難しかったと思うが、生徒の人権意識が少しでも高まるように粘り強く取り組んでほしい。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症をめぐると人権問題について、教職員と生徒で共通理解を図るとともに人権意識に根差した言動を指導していく。</p> <p>○人権だより「皆見(みなみ)」を来年度も継続して発行するとともに、紙面を工夫するなど、人権・同和教育の周知・啓発に努める。</p> <p>○生徒や家庭の人権意識高揚について、啓発活動を継続する。</p>
<p>⑧図書・研修</p> <p>○図書購入や図書館の在り方を再度見直し、多くの生徒が読書に興味を持ち、図書館を利用することで、読書離れが軽減できるようにしてほしい。</p> <p>○図書館の環境整備などを通して図書館利用の指導が行われていますが、貸出冊数が昨年度あたりから減少傾向が見られるようである。</p> <p>○図書館の環境はともよいと思うが、活字離れの多い年代の読書指導はなかなか難しいと思う。</p> <p>○手元にある機器で済んでしまうことも多く、本を手取る機会が減っている。今後の課題である。</p> <p>○バラエティに富んだいろいろな本を取り揃えていて良いと思う。</p> <p>○開放的で立寄りやすい図書館である。もっと本を読み、知識を増やし心を豊かにしてほしい。</p>	<p>○図書館の在り方や広報の仕方について工夫し、より魅力的な図書館経営を検討する。</p> <p>○貸出冊数の減少について、原因を考察する。その上で、図書館への来館者を増やす手立てを工夫し、書籍の配置や新規購入図書について工夫する。</p> <p>○「生徒一人一台端末」の配備により、授業風景や宿題のやり取り等は大きく変わることが予想される。校内研修や校内研究授業等を通して授業者自身のスキルアップを図ってほしい。</p> <p>○小グループでの学習会を多く持つことで、教職員間のコミュニケーションの活性化にも繋げたい。</p>
<p>⑨ICT（情報通信技術）教育</p> <p>○タブレットやリモート等、学校全体でもっと活用し、スキルアップにつなげてほしい。</p> <p>○家庭環境に関係なく、皆が精通した能力を持てるようにしてほしい。</p> <p>○情報化時代に添った教育がなされていると思う。</p> <p>○今後は、教職員のタブレットや関係ソフトを使いこなすためのスキルアップが喫緊の課題となっている。引き続き、研修会等での充実した取組が必要である。</p>	<p>○「生徒一人一台端末」の配備と本格稼働に向けて、教員・生徒ともにICT機器操作に関するスキルアップを図る。</p> <p>○タブレット等の端末を日常的に使用することで、ネットモラルなどの新しい問題が発生することが予想される。問題を事前に想定し、トラブルの発生を未然に防ぐ指導を行っていく。</p>
<p>⑩教育相談</p> <p>○相談室があるが、利用率はどうか。</p> <p>○十分な指導がなされていると思う。</p> <p>○「あのね」と言える環境づくりは、これからますます大切になると思う。</p> <p>○保護者や生徒との直接面談を増やすことが問題解決の近道だと思う。</p> <p>○個々の生徒のニーズに合った、手厚い支援ができるような教育相談の体制が構築できており、生徒が安心して学校生活を送れる手立てが整っていると感じる。</p>	<p>○教育相談室は、週に一度、スクールライフアドバイザーが生徒や保護者との相談業務に当たっており、利用頻度は高い。その他、教育相談課教員等が生徒の悩みや相談に対応しており、生徒は比較的気軽に利用している。この取組を継続したい。</p> <p>○定期的なアンケート等で、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に引き続き努めていく。</p>

<p>⑪保護者、地域住民との連携</p> <p>○今年度はあまり地域と連携するような活動はなかったが、生徒のためにも協力し、良い関係であってほしい。</p> <p>○地域との連携は大切。これまでどおりの活動を期待する。</p> <p>○一方通行ではなく、いろいろな分野の人の意見を聞き、共通理解を深めることはとても大切だと思う。</p> <p>○学校通信やホームページを利用し、保護者に適切な情報提供ができていると思う。地域との活動については、コロナの感染状況を見ながら実施して、本年度よりも一つでも多くの活動ができることを願いたい。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症により、今年度は、地域との連携は大きく制限された。地域との連携は、生徒が主体的に学習できる機会であり、実施について工夫していきたい。</p> <p>○ホームページを活用することで、学校や生徒の活動の様子を公開し、学校の魅力化推進を進める。</p> <p>○7月末から「マチコミメール」を導入した。ホームページと併用することで、多角的な連絡方法が確保でき、即時性も向上した。</p>
<p>⑫「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」等</p> <p>○市民文化センターでの発表は良い経験になるし、発表内容も良いので、今後も一層頑張って発展してほしい。</p> <p>○のびのびとした学習発表会であり、個々の考えや行動がすばらしい。</p> <p>○一人一人が生き生きと活動し、達成感が得られる機会としてほしい。</p> <p>○学習成果発表会において、ステージ上で生き生きと発表している生徒の姿を見て、たくましさを感じることができた。充実したキャリア教育が実践されている証拠だと思った。</p>	<p>○「産業社会と人間」「ライフスタディⅠ・Ⅱ」についても、今年度は活動や発表会の在り方に大きな制約を受けた。今年度の経験を生かし、実施の在り方を工夫していく。</p> <p>○生徒が発表する場を多く設定することで、生徒の学習が深化するよう指導を行う。</p>
<p>⑬事務管理</p> <p>○電話対応等も感じが良く、学校の窓口として十分に役割を果たしている。</p> <p>○適切な管理ができている。</p> <p>○十分な対応をしてくれた。</p> <p>○いつもいろいろな面で配慮がよくなされていると思う。</p> <p>○印刷物を減らしデータに移行するなど管理意識を進めてほしい。</p>	<p>○事務課の対応について、保護者や地域の方々から高い評価を受けており、引き続き学校の顔としての役割を認識し、丁寧な接遇に努める。</p> <p>○学校の施設・設備の整備と充実に努め、教育環境の整備を進める。</p> <p>○業務全体を見直し、無駄を省く工夫をする。</p>
<p>⑭総合評価・提言等</p> <p>○進学や就職に必要な学力向上の底上げを図ってほしい。</p> <p>○もう少し元気な挨拶ができるようになるとよい。</p> <p>○生徒たちが学校に来るのが楽しいと思えるところがすばらしい。そうした環境・校風が魅力となり、生徒の自信にも繋がる。これまで以上に、魅力ある南高にしてほしい。</p> <p>○マニフェストにあるような数値目標は、具体的でいい面もあるが、教育においては数値化できないものもある。</p> <p>○「学校評価に関するアンケート」の評価項目をより具体化してはどうか。</p> <p>○学校評価は、全体評価である。教育は、生徒一人一人の個性を見つけ伸ばすことが大切。生徒一人一人の個別評価にも一層尽力されることを願う。</p> <p>○これからも地域と一緒に成長できる学校であってほしい。</p> <p>○「磨け個性、社会のために～考える力を育み地域を支える人づくり～」の強化と継続を願う。人づくりこそが教育だと思う。</p> <p>○地域との交流等をより進めてほしい。生徒も教職員も共に学べるとよいと思う。</p>	<p>○学校や生徒の活動状況について、高く評価していただいている。教職員が一丸となり、より一層、学校の魅力化に邁進する。</p> <p>○数値化できにくい生徒の変容等について、検証の方法を引き続き研究したい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に留意しながら、地域との連携をより一層深め、地域から愛され、地域とともに歩む個性豊かな南高生を育成する。</p> <p>○総合学科としての魅力や本校の魅力を広く内外に発信することで、生徒数の確保に努める。</p>